



声かけを見直してみよう!

以前、Vol.22の資料にて「声かけ変換表」を公開して大好評でした!今回はその第2弾になります。
※声かけだけでは解決しない場合もあります。それをご理解の上で参考にしてみてくださいね。

声かけ変換表

状況、子どもの行動	Before	After
「ひと口食べてみたら?」と勧めたら、ひと口食べられた	もうひと口!(約束破り)	〇〇食べられたね!
食べ過ぎてしまうとき	〇〇ばかり食べちゃダメだよ	事前に食べすぎるものを量を減らす / おかわりのルールをしっかりと決める
食べ物で投げたり、遊んでしまう	やめなさい! / 〇〇したらダメでしょ	やって欲しくないことには反応しない
立ち歩いたり食事に集中できない	ちゃんとしなさい	席に戻ろうね / 椅子に座ろうね
食事を残してしまうとき	もったいない! / 感謝して食べなさい	残したものを食べられない理由を考える
声をかけても無反応	一生懸命に声をかける	そっとしておく / ここまで食べられたね
早食いをしてしまう	よく噛んで食べなさい!	〇〇回噛むと味が変わるよ / どんな味がするか教えて?
大人が口に運ばないと食べない / あーんして欲しが	自分で食べなさい!	スプーンに乗せるところまでね / 1回だけ一緒に食べたら自分で食べようね
食べ物のにおいを嗅ぐ	お行儀悪いからやめなさい!	どんな匂いがした?
ぺろっただけ舐めた	お行儀悪いからやめなさい / ちゃんと食べなさい	〇〇に口をつけられたね!
嚥下が難しい食べ物を食べようとしている	気をつけてね / 良く噛まないと危ないよ	食べられなかったら、ここ(お皿、ポウル、ティッシュ等)に出しても大丈夫だよ

注目しないのも大切な関わり方

年齢が大きくなって言葉が理解できるようになってきたら、やって欲しくないことや好ましくない行動に対して、注意をすることも大切です。しかし、まだあまり言葉が理解できない年齢の場合は、注意をすることで、注目されたことを嬉しいと感じて、もっとその行動をすることがあります。**注意をしてもその行動が続く場合は、反応をしない、注目をしないようにする**ということも1つの方法です。

詳しい解説記事はこちら!



給食 声かけ変換表

状況、子どもの行動	Before	After
残してしまう子	残さず食べなさい!	どれくらいだったら食べられそう?
食べるのが遅い子	早く食べて!いつまで食べてるの?	どこまで食べたらごちそうさまにする?
全く口をつけようとしない	ひと口は食べなさい	べろっとして/においだけかいでみたら? (混ぜてる料理などに)どれが苦手そう?
子どもが食事を吐き出した/口から出した	お行儀悪いから吐き出さないの!	飲み込めなかったら、ここ(お皿、ボウル、ティッシュ等)に吐き出してね
苦しそうに食べている	頑張れ!	無理しなくて大丈夫だよ (既に頑張っていることが多い)
苦手なものや、普段より量をたくさん食べられたとき	すごいね!	〇〇食べられたね!
「辛い」「苦い」など味の文句に対して	わがままばかり言わないの!	大人の味が分かるんだね!
給食をたくさん減らす子	減らしすぎ!	今日はあまり食欲ないの?
姿勢が崩れている	お行儀悪いからちゃんとしなさい	両足を床につけて食べようね 〇〇さんの背中がピンとして素敵だなあ
おしゃべりがとまらない	静かにしなさい!	「これくらい(ひそひそ)」でしゃべれるかな? 〇時になったらごちそうさまだよ
お箸を落としてしまった	落とさないようにしなきゃダメでしょ	洗っておいで



詳しい解説記事はこちら!

